

音楽 No. 4

このワークシートは学習のあと、
先生にわたしましょう。

5年 組

名前 _____

めあて 言葉を大切にしながら、気持ちをこめて歌おう

- *「君をのせて」の音源は、授業での聴取または学校 HP 等からの限定配信をご利用ください。
学校からの配信は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 SARTRAS へ届け出のうえ、パスワード等を用いた限定配信及びストリーミング配信（ダウンロード不可）で行ってください。
- *歌唱の扱いは、家庭等校外での活動を視野に作成しています。授業で扱う場合はマスクの着用やソーシャルディスタンス、音量等にご留意ください。

1. 教科書 54 ページ「君をのせて」の楽ふを見ながら、音げんをきいたり歌ったりしましょう。

★上のパートを指でなぞりながら音げんをきいたり、音げんに合わせて歌ったりしましょう。

★下のパートを指でなぞりながら音げんをきいたり、合わせて歌ったりしましょう。

★主なせんりつをどちらのパートが演そうしているのかを、ていねいにききましょう。

楽ふに書かれた矢印も参考にして、できたら○をつけましょう。

- () 主なせんりつを目で追いながら音げんをきくことができた
- () とちゅうで見失ってしまった

2. 歌しの中で心に残った言葉を書きましょう。また、大切に歌いたいなと感じたところはどこですか。

教えてください。

3. 曲の特ちょうを見つけながら、主なせんりつを歌いましょう。そして、見つかった特ちょうに○をつけましょう。

- () 各フレーズの歌いだしが、前の小節の最後の拍から始まっている
- () やや弱く始まり、少しずつ強くなって、中ほどでもり上がる
- () もり上がりのあと、再び最初のせんりつが現れて、最後は静かに終わる

4. 上のパートを、オのところのせんりつを確かめて歌いましょう。

また、3で見つけた曲の特ちょうや強弱を感じながら、上のパートを歌いましょう。

できたら○をつけましょう。

- () オのところのせんりつを歌うことができた
- () 曲の特ちょうや強弱を感じながら歌うことができた
- () 少しむずかしかった

5. 下のパートに、ちょう戦しましょう。

★ウとエ、カの部分の音をそれぞれ確かめながら音げんをきき、歌いましょう。

けんばん楽器で音をかめめるのも一つの方法です。

★下のパートのせんりつの動きや役わりについて確かめましょう。確かめたら○をつけましょう。

- () アとイでは、上のパートといっしょに主なせんりつを歌う
- () ウの最後は、エへ橋渡しをするように「つめこんで」と歌う
- () エでは上のパートとほとんど同じリズムで音を重ねる
- () オからは主なせんりつを歌う
- () カの始めはせんりつをかざる役わりで長い音を伸ばし、その後上のパートと同じリズムで音を重ねる

★曲の特ちょう、下のパートの役わり、強弱を感じながら、下のパートを歌いましょう。

できたら○をつけましょう。

- () ウ、エ、カの部分を歌うことができた
- () 曲の特ちょうや強弱を感じながら歌うことができた
- () 少しむずかしいところがあった

むずかしかったところを書きましよう。

6. 「君をのせて」を合唱するとき、上と下どちらのパートにちょう戦したいですか。また、何に気をつけて歌いたいか、自分なりの考えを書きましょう。また、その理由も書きましょう。

どちらのパートを歌いたい？	その理由は？

何に気をつけて歌いたい？	その理由は？